

中丹西

オレンジロードつなげ隊だより

認知症～ひとりで悩んでいませんか？～



このシンボルマークには、優しい眼差しで、
広く長く見守るという思いが込められています。

【事務局】京都府中丹西保健所 保健課 地域包括支援係
〒620-0055 福知山市篠尾新町1丁目91番地 TEL0773-22-6381

中丹西オレンジロードつなげ隊

検索

詳しくは
HPを検索!!

家族が学ぶ 認知症のこと～連続講座



認知症のひとと家族の会京都府支部、福知山市による『家族が学ぶ
認知症のこと』連続講座が盛況を博しています。

認知症についての講座、また、認知症の方を介護されるご家族が
日頃の思いを話し合う交流会、認知症の方もそうでない方も和やか
に集えるカフェと盛りだくさん。

1回のみ受講も可能ですので、お気軽にお申し込みください。

8月29日(木) 講座③ 認知症の人の思いを知ろう

9月25日(水) 講座④ 認知症介護者の思い

10月31日(木) 講座⑤ 介護・福祉サービスを利用しよう

11月26日(火) 講座⑥ 地域で支えるオレンジのまちづくり

※13:30～14:30 講座

14:30～15:30 家族交流会&認知症カフェ

家族交流会のご感想

介護の苦勞は介護する
人にしかわからないと
ころもある。

話し足りない
ぐらい!

気持ちを吐き出
せてよかった。

皆さんの話を聞いたり、
顔を見て元気になりま
した。



↑詳細はこちら

【問い合わせ・申し込み】
福知山市地域包括ケア推進課
(0773) 24-7073

NEWS

9月は世界アルツハイマー月間です!

世界アルツハイマー月間の取り組み

《 福知山城ライトアップ 》

(福知山市主催)

9月13日(金)～9月27日(金)

福知山城が認知症啓発シンボルカラーのオレンジ色に♪

《 図書館掲示 》

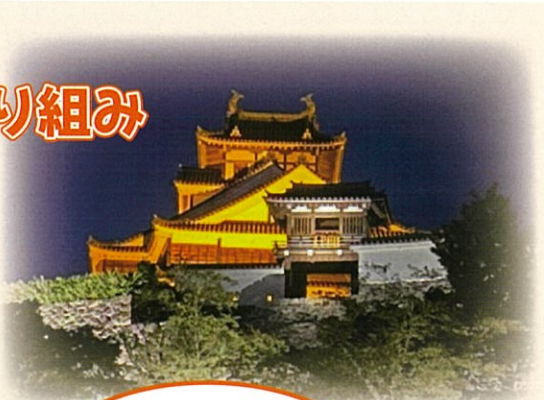
9月17日(火)～9月29日(日)

福知山市立図書館中央館2階 貸し出し受付コーナー後ろ

《 街頭啓発 》

9月19日(木) 11時～12時 フレッシュバザールフレスポ福知山店

9月20日(金) 11時～12時 バザールタウン福知山店



オレンジ色の
つなげ隊Tシャツを
着て活動します♪



新入隊員のご紹介

畠中明美 隊員 (福知山市社会福祉協議会所属)

私自身もこれからの活動を通して認知症を深く理解し、また、多くの人に認知症を正しく理解してもらい、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように活動していけたらと思います。

衣川恵美子 隊員 (グリーンビラ夜久野所属)

自身の認知症の理解を深め、本人や家族の方がやさしさに包まれ、安心して自分らしく生きていける環境作りの支援などを行いたいと思っています。また認知症という誰にでもなり得ることを、地域の方や子供達に理解してもらえそうな活動にも参加していきたいと思っています。

迫村和子 隊員 (認知症予防の会所属)

活動を通して、自分自身も学びながら、地域や多くの方々に認知症のことをより幅広く深く知ってもらい、お互いにあたたかい目で見守り合いながら、皆さんの日々が穏やかに過ごせるよう、一緒に頑張っていきます。

野村光美 隊員 (福知山市社会福祉協議会所属)

1人でも多くの方に認知症を知ってもらい理解してもらえよう活動し、穏やかに安心して生活できるようお役に立てればと思います。



隊員には、どなたでもご登録いただけます。
ご興味のある方は、中丹西保健所までご連絡ください。

若年性認知症、将来への不安にどう向き合うのか



若年性認知症についての相談窓口である
京都府こころのケアセンター 若年性認知症支援コーディネーター
木村葉子さんにお聞きました

〔若年生認知症とは〕

65歳未満で発症する認知症で、平均発症年齢は54.4歳。全国に約35,700人(京都府内には700~800人。厚労省の調査結果。令和2年発表)の当事者がおられると考えられています。

この年代といえば『現役世代』。就労中に発症されるとたちまち経済的な課題が重くのしかかります。診断後の混乱の中で点在する制度をもれなく適切に申請をすることは至難の業です。

〔ご存知ですか？若年性認知症コーディネーター〕

京都府では平成29年4月に配置され、若年性認知症の方々の支援者への後方支援を中心に電話相談等の相談支援、地域の支援者の連携体制の構築、若年性認知症支援の普及・啓発の役割を担っています。

電話相談では、ご本人やご家族はもとより、件数は少ないですが、お勤め先の上司や産業医から「これまで若年性認知症と診断された方と仕事をした経験がないのだからどうすればよいのか？」とご相談をいただくことがあります。

ご本人がこれまでされてきたお仕事が難しくなったとしても、工夫によってできる業務を切り出せる場合があることや、やむなく休職される場合も、ただ自宅で療養するよりも、主治医と相談し何かしらできることを探して続けることで認知症の症状進行を緩やかにできる場合があることをご提案することもあります。

また、一緒にお仕事をされる方々が「どう接したらよいかわからない」と戸惑っておられる場合は、同僚の方を対象とした認知症サポーター養成講座を実施し、「認知症」への理解を深めていただき、ご本人がおひとりでもできることもまだまだたくさんあるので、できる限りこれまで通り接していただきたいことや、病気の特性上お手伝いいただきたい点についてご説明しご本人と同僚の方々、双方の負担をできる限り軽減できるようなお手伝いもしています。

なによりも、一日でも長く就労継続ができるよう、ご家族と勤務先が協力し、ご本人を支えていただけるような環境整備につながる声かけを大切にしています。

京都府こころのケアセンター 若年性認知症支援チーム おれんじブリッジ

・相談電話 (0774)32-5885 ・相談時間 9:00~12:00 / 13:00~15:00
※土・日・祝 年末年始を除く

